



EHIME UNIVERSITY

子どもの愛顔を引き出す プロフェッショナルを目指しませんか？

本学の教育学研究科は、教育実践高度化専攻(教職大学院)と心理発達臨床専攻の2つの専攻から構成されており、それぞれで、教育のプロフェッショナル、心の健康のプロフェッショナルの育成を目指しています。

教育実践高度化専攻(教職大学院)では、教育研究改革の拠点として、高度な実践的指導力や社会の変化に伴う新たな課題に柔軟に対応できる力量をもった教員を育成しています。専攻のなかには、リーダーシップ開発コース、教育実践開発コース、教科領域コース、特別支援教育コースの4つのコースがあります。その特徴は、研究者教員、実務家教員、連携協力校が三位一体となった指導を展開するところにあります。一人一人のスキルアップとキャリアアップを全面的に支援していきます。

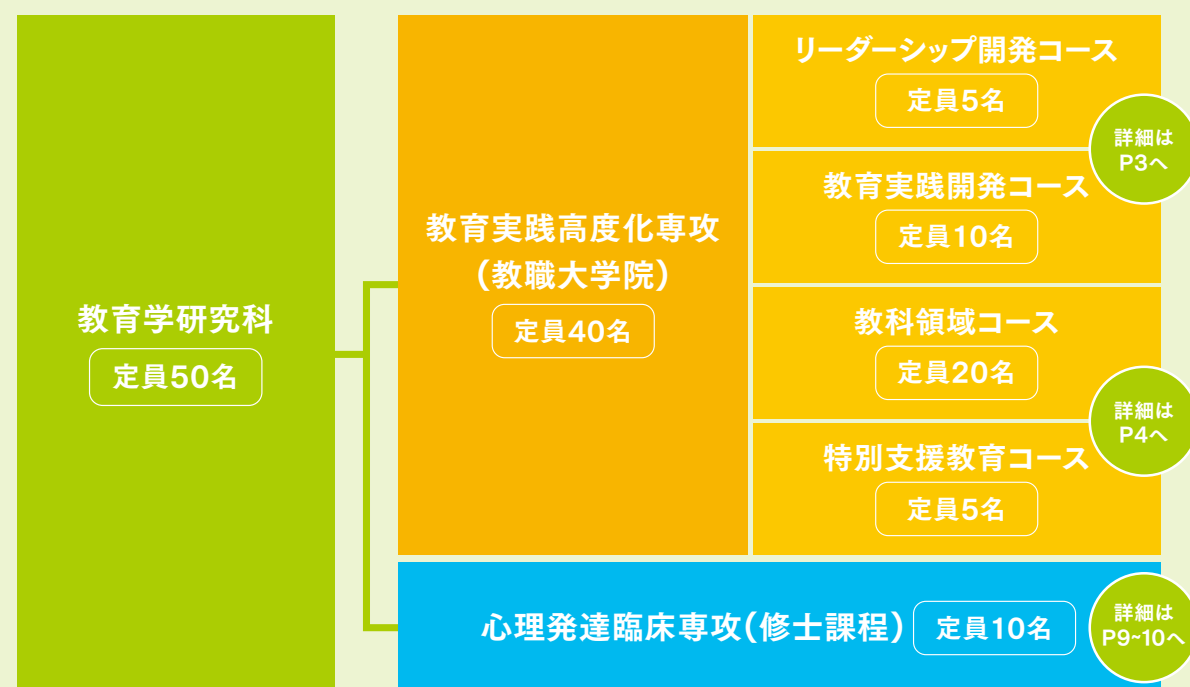
心理発達臨床専攻では、臨床心理士に加え、公認心理師の受験資格が得られるプログラムを用意しています。今、学校現場では、さまざまな心の問題を抱えた子どもたちやその保護者たちに寄り添うスクールカウンセラーのニーズが高まっています。チーム学校の専門スタッフとして、幼児・児童・生徒とその保護者だけでなく、教員や他の専門職と連携して、学校教育の現場で生じる諸問題の解決に寄与できる専門的な人材を育成しています。

どちらの専攻も、豊富な実習プログラムをもとに、理論と実践を往還させた充実した学びの場を提供しています。愛媛大学大学院教育学研究科では、院生も教職員も愛顔(前向きな気持ちと思いやりの心)を大切にしています。子どもの可能性と愛顔を引き出す「強みと専門性」をもった教育のプロフェッショナル、心の健康のプロフェッショナルを目指しませんか？

愛媛大学大学院
教育学研究科長
日野 克博



〈教育学研究科 組織図〉



教育実践高度化専攻 (教職大学院)

教育理念

愛媛に求められる教育実践高度化専攻とは、
スキルアップとキャリアアップを保証する

「地域の先端教育研究拠点」

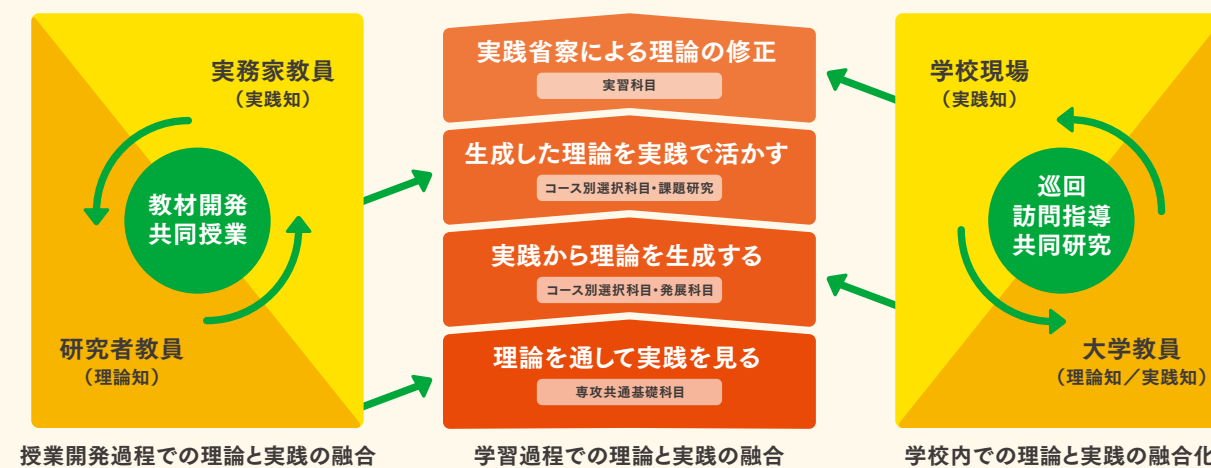
教育学研究科教育実践高度化専攻は、愛媛県のエducational research reformの拠点として高度専門職人材の育成と先端研究開発を促進し、地域の活性化に貢献します。設置するコースは、リーダーシップ開発コース、教育実践開発コース、教科領域コース、特別支援教育コースの4コースです。



カリキュラム

教育学研究科教育実践高度化専攻では、研究者教員・実務家教員・連携協力校(松山市内の小・中学校計82校、高等学校17校、特別支援学校11校ほか)が三位一体となった指導を展開することで、一人一人のスキルアップとキャリアアップを全面的に支援します。教育実践高度化専攻の修了者には、「教職修士(専門職)」の学位が授与されます。なお、修了要件には、修士論文ではなく、実践研究報告書(課題研究)の作成が含まれます。また、幼稚園・小学校・中学校・高等学校教諭・養護教諭の一種免許状の取得者は、所定の単位を修得することによりそれぞれの校種・教科の専修免許状を取得することができます。(2024年度より養護教諭専修免許状も対象)

高度な実践的指導力や社会の変化に伴う 新たな課題に柔軟に対応できる広い視野をもった教員の育成



大学・教育委員会・連携協力校の連携協力体制

course

1

新たな学校づくりを推進するリーダーシップと高度なマネジメント力を高める

リーダーシップ開発コース

地域や学校において指導的役割を果たし得る学校管理職として、目標達成に向けて、教員個々の指導力を統合する組織力を向上させるとともに、教員相互ならびに保護者・地域との連携・協働の基盤となる信頼を構築するためのリーダーシップを発揮し、新たな学校づくりと愛媛の教育改革を推進するリーダー候補の養成を目指します。

対象 現職教員(学校管理職候補者) **目的** 愛媛の教育改革を推進するリーダー候補の育成 **定員** 5名

PICK UP 1

四国内の大学間での双方向型遠隔通信授業

鳴門教育大学、香川大学、高知大学、愛媛大学の四国4大学で、単位互換遠隔授業を実施しています。愛媛大学からは、「学校改善の実践的研究(2単位)」と「教員研修プログラム開発演習(2単位)」を配信し、他大学の現職教員との交流を図っています。



PICK UP 2

勤務校の学校改善をテーマとする課題研究

課題研究では、原則、勤務校の学校改善や問題解決に資するテーマを設定します。若年層教員の人材育成、組織開発、教員のウェルビーイング、働きがい改革、高校改革等のテーマを設定し、勤務校の学校管理職・教職員、研究者教員・実務家教員との連携協働を通して、問題解決に挑戦します。



course

3

教科の指導力とミドルリーダーとしての資質・能力を高める

教科領域コース

教科指導に関する高度な実践力をもち、学校現場に出て即戦力となる教員の育成と、教員個々の実践的な教科指導力を、目標達成に向けて統合するために必要な組織力の向上に貢献できる資質・能力を備えた教科指導のミドルリーダーの育成を目指します。本コースは、言語社会教育系、自然科学系、芸術生活健康系の3つのプログラムで構成されています。

対象 学部卒業者、臨時採用教員、現職教員 **目的** 教科指導・研究を推進するリーダー候補の育成 **定員** 20名

PICK UP 1

少人数授業による専門分野の基礎理論

少人数授業によって各自の問題意識を深めることで、専門分野の研究課題についての知識や理解を向上させます。



PICK UP 2

各教科の理論に基づいた教材開発と実践

実践的内容のカリキュラムを通して、各教科の理論と実践を結びつけた教科指導力を養います。



course

2

新たな学びや今日的教育課題に対応し得る高度な実践的指導力を高める

教育実践開発コース

学校現場で即戦力となる新人教員またはミドルリーダーとして、今後、創造すべき新たな学びをデザインする力や、現在、直面する教育課題(学級経営、教育相談、ICT教育等)に対応し得る高度な実践力・応用力などを高め、目標達成に向けて、教員個々の指導力の統合に貢献できる人材や、校内研究を推進するリーダー候補の養成を目指します。

対象 学部卒業者、臨時採用教員、現職教員 **目的** 校内研究を推進するリーダー候補の育成 **定員** 10名

PICK UP 1

個々の成長に応じたオーダーメイド実習

個々の職能成長課題に最大限に配慮したオーダーメイドの実習です。連携協力校110校から実習校を複数選択することが可能で、学びたいことが学べる実習システムです。学校側の実習担当者は、エキスパート級の教員で、大学院の実務家教員と研究者教員、学校の管理職と実習担当教員らのチームで実習を計画し指導にあたります。



PICK UP 2

ICT活用に強みを持つ教員養成カリキュラム

GIGAスクール対応のために、5科目12単位が設定されています。共通基礎科目(4単位)として「地域協働型デジタル教材開発演習」、発展科目(各2単位)として「デジタル教材・アプリ開発演習」「校務支援DX演習」「プログラミング教育高度化演習」「ICTを活用した授業実践開発」が履修できます。



course

4

多様で特別な教育的ニーズに対応できる実践力を高める

特別支援教育コース

特別支援学校から通常の学級まですべての学校現場で求められる特別支援教育の専門性を備えた高度の実践力を身につけます。各種障害に関する知識・技能、特別支援教育の観点からの学級経営・学校経営やインクルーシブ教育システムの構築の仕方、関係機関との連携の知識を身につけ、学校・地域における特別支援教育のリーダーを育成します。

対象 学部卒業者、臨時採用教員、現職教員 **目的** 特別支援教育・研究を推進するリーダー候補の育成 **定員** 5名

PICK UP 1

特別な教育的ニーズへの対応を目指す実習

附属学校や地域の学校での実習と大学院での学びを相互に関連付け、学校現場で役立つ特別支援教育の実践力を身につけます。



PICK UP 2

ICT機器等を活用した多様な支援方法の追究

様々な障害等に対応できるよう、ICT機器等を活用するなど、多様な支援方法を用いた指導力を養います。



専攻共通基礎科目(20単位)	
教育課程の編成及び実施に関する領域	授業研究の開発実践
	カリキュラム・授業開発の理論と実際
	地域協働型デジタル教材開発演習
教科等の実践的な指導方法に関する領域	心の教育の理論と実践
	授業における学習支援と指導法の事例分析
	小学校英語教育の実践研究
	子どもの発達と感情
生徒指導及び教育相談に関する領域	生徒指導・進路指導の実践研究
	子ども理解の心理アプローチ(調査法)
	特別支援教育の理論と実践
	学級経営の理論と実践
学級経営及び学校経営に関する領域	学校組織のリーダーシップ
	データを活用した学校経営(調査法)
	子どもの資質・能力を高める学校経営論
	教員の成長と職業倫理
学校教育と教員の在り方に関する領域	教師のライフヒストリー・省察と資質能力開発
	チーム学校協働演習
	愛媛の教育改革※1

リーダーシップ開発コース コース別選択科目(16単位)	
発展科目	エビデンスに基づく教育政策・事業分析
	人材育成演習※1
	教員研修プログラム開発演習
	信頼を構築する学校危機管理
	地域とともにある学校の経営
	学校改善の実践的研究
	家庭・地域・学校の連携構築
	学校ビジョンの構築と教職員の組織化
	学校組織マネジメント
	インクルーシブ社会実現に向けて
課題研究	教授法入門
	学校改善課題研究1
	学校改善課題研究2

教育実践開発コース コース別選択科目(16単位)	
発展科目	教材開発高度化演習
	特別な教育的ニーズへの対応
	学級経営の事例研究
	教育課題解決のための教育プログラム開発演習
	児童生徒・保護者の教育相談実践
	健康と食育の生活指導
	子どもの問題行動の事例研究
	生徒指導・進路指導の事例研究
	デジタル教材・アプリ開発演習
	校務支援DX演習
課題研究	プログラミング教育高度化演習
	ICTを活用した授業実践開発
	授業改善課題研究1
	授業改善課題研究2
	授業改善課題研究3

特別支援教育コース コース別選択科目(16単位)	
発展科目	特別支援教育総論
	障害児の聴能の理論と実際
	聴覚言語障害への心理学的対応
	聴覚障害教育の理論と実践
	聞こえの困難への教育的対応
	認知機能の困難への心理的対応
	運動機能の困難への心理的対応
	保健医療福祉との連携と医療的対応
	学校における支援体制
	個別の指導計画の作成と実施
	社会的自立・就労の指導
	重複障害児の教育実践
	読み書き困難への対応
	計算・推論困難への対応
	行動上の問題への対応
課題研究	アセスメントの方法と総合的解釈
	特別支援教育課題研究1
	特別支援教育課題研究2
	特別支援教育課題研究3

教科領域コース コース別選択科目(16単位)	
言語社会教育系プログラム	教科指導力高度化演習 基礎
	教科指導力高度化演習 発展
	教材研究の基礎理論(現代の国語)
	教材の開発と実践(現代の国語)
	教材研究の基礎理論(言語文化)
	教材の開発と実践(言語文化)
	教材研究の基礎理論(書写書道)
	教材の開発と実践(書写書道)
	教材研究の基礎理論(歴史)
	教材の開発と実践(歴史)
	教材研究の基礎理論(地理)
	教材の開発と実践(地理)
	教材研究の基礎理論(公民)
	教材の開発と実践(公民)
	教材研究の基礎理論(英語学・言語科学)
	教材の開発と実践(英語学・言語科学)
	教材研究の基礎理論(第二言語習得)
	教材の開発と実践(第二言語習得)
自然科学系プログラム	教材研究の基礎理論(代数)
	教材の開発と実践(代数)
	教材研究の基礎理論(幾何)
	教材の開発と実践(幾何)
	教材研究の基礎理論(物理)
	教材の開発と実践(物理)
	教材研究の基礎理論(化学)
	教材の開発と実践(化学)
	教材研究の基礎理論(生物)
	教材の開発と実践(生物)
	教材研究の基礎理論(地学)
	教材の開発と実践(地学)
	教材研究の基礎理論(電気)
	教材の開発と実践(電気)
	教材研究の基礎理論(機械)
	教材の開発と実践(機械)
芸術生活健康系プログラム	教材研究の基礎理論(材料加工)
	教材の開発と実践(材料加工)
	教材研究の基礎理論(スポーツ)
	教材の開発と実践(スポーツ)
	教材研究の基礎理論(健康)
	教材の開発と実践(健康)
	教材研究の基礎理論(食物)
	教材研究の基礎理論(被服)
	教材の開発と実践(食物・被服)
	教材研究の基礎理論(家庭生活)
	教材の開発と実践(家庭生活)
	教材研究の基礎理論(器楽)
	教材の開発と実践(器楽)
	教材研究の基礎理論(鑑賞・創作)
	教材の開発と実践(鑑賞・創作)
	教材研究の基礎理論(歌唱)
	教材の開発と実践(歌唱)
	教材研究の基礎理論(絵画・彫刻)
	教材の開発と実践(絵画・彫刻)
	教材研究の基礎理論(デザイン・工芸)
	教材の開発と実践(デザイン・工芸)
	教材研究の基礎理論(美術理論・美術史)
	教材の開発と実践(美術理論・美術史)
課題研究	教材開発課題研究1
	教材開発課題研究2
	教材開発課題研究3

実習科目	
実習科目	異校種実習
	小規模校実習
	研究指定校実習
	連携校実習1・2・3
	特別支援教育連携校実習1・2・3 ※2

※1は松山市教育研修センターでの公開授業
※2は特別支援教育コースのみ

4

Apr

M1とM2の交流集会



5

May

ソフトボール大会

教育実践高度化専攻のOBも多数参加します。



6

Jun

教員採用試験対策講座

教員採用試験受験予定者対象の講座です。



7

Jul

チーム学校スペシャリスト養成講座 デジタル教材開発プロフェッショナル養成講座

現職教員や外部人材の方々と共に、地域の教育課題の解明のために学び合います。



8

Aug

教職支援機構(NITS)主催オンライン研修

学校組織マネジメント指導者養成研修等のNITSオンライン研修に参加します。

9

Sep

小規模校実習、異校種実習等を履修

小規模校実習では、愛媛県内の小規模校で、2週間の集中実習を行います。



10

Oct

研究指定校実習を履修

愛媛県内の教育研究先進校を訪問し、観察実習を行います。



11

Nov

連携校実習3を履修

連携校で授業研究を行います。



12

Dec

海外教育体験実習(台湾) 四国内の教職大学院単位互換授業

鳴門教育大学・香川大学の教職大学院の院生と遠隔授業を通して学び合います。



1

Jan

集中講義

他大学の著名な教授による集中講義を受講します。



2

Feb

教職大学院研究発表大会・ 松山市教育研修センターフェスタ

課題研究の成果を発表し、学習成果を愛媛県内に還元します。



3

Mar

学会発表 海外教育体験実習(シアトル・フィリピン) 修了証書授与式、謝恩会



スペシャル・プログラム

■生徒指導の実践力を高めるメタサポ支援員



愛媛県教育委員会が実施しているメタバースを活用した不登校支援のサポーターになれば、児童生徒理解の在り方を実践的に学ぶことができます。

■シアトルでのダイバーシティと教育実践体験



2週間のホームステイ、ダイバーシティを学ぶ活動、小中高등학교・大学での教育実践を通して、共生社会を創造する実践力を高めます。

■小規模校訪問・交流事業



令和6年度は、愛南町の小中学校を、学部生と共にバスツアーにて1泊2日で訪問しました。教育長や先生方との交流もあり、教師の魅力を改めて確認する機会となりました。

■チーム学校スペシャリスト養成講座



学部生、院生、現職教員、一般の方、時には高校生（教師の卵）が交流し、チーム学校に必要とされる分野の専門性を高める講座です。

■デジタル教材開発プロフェッショナル養成講座



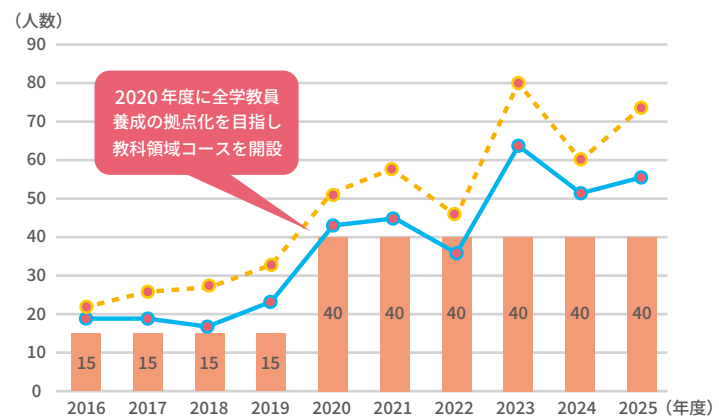
全国から有名講師を招き、学部生・大学院生・現職教員が協力しながら、デジタル教材の作り方と使い方を実践的に学びます。

■高校生課題研究支援事業



大学近隣の進学校において、課題研究の支援を行います。高校生による教育探究活動を支援し、小・中学校連携事業や実習体験のサポートを提供します。

入試実施状況



教職大学院 志願倍率 日本一！ （令和5年度入学生）

教職大学院の志願倍率は、定員拡充以降、全国トップの水準を維持しています。教員養成課程を持つ教育学部の大学院進学率日本一（令和5年度入学生）であり、教育学部からの進学者が中核を担っています。令和6年度は、100名の院生が教職大学院に在籍しています。毎年度、13～15名の現職教員学生の派遣を受け入れており、学部卒業学生のうち約85%が愛媛大学の学部出身者です。



進路・教員採用試験（令和3年度～令和5年度入学生）

		愛媛県小学校	愛媛県中学校	愛媛県高等学校	合計
令和3年度入学生	受験者	10名	6名	6名	22名
	合格者	10名	6名	2名	18名
	合格率	100%	100%	33%	82%
令和4年度入学生	受験者	6名	7名	8名	21名
	合格者	6名	7名	5名	18名
	合格率	100%	100%	63%	86%
令和5年度入学生	受験者	18名	16名	9名	43名
	合格者	18名	16名	8名	42名
	合格率	100%	100%	89%	98%

県立を除く愛媛県志望の学生
全員合格!!
(学部段階での合格者12名を含む)

県立を除く愛媛県志望の学生
全員合格!!
(学部段階での合格者7名を含む)

県立を除く愛媛県志望の学生
全員合格!!
(学部段階での合格者23名を含む)

修了生の声

（所属は令和6年度末時点）



第1期生
リーダーシップ開発コース
井上 武彦さん
(伊方町立瀬戸中学校 校長)

学び続ける意欲と力が伸びる教職大学院

「子供たちが学ぶのであれば、教師も学び続けなければならない。」教職大学院での学びを通して、そう強く感じました。修学前は、自身の経験や感覚を中心に教育活動を進めている自分がいました。大学院では、これまでの「指導者」としての経験を生かしながら、「学習者」という新鮮な立場で最先端の理論をじっくりと学び、県内外の多種多様な機関で研修する貴重な機会をいただくことで、「理論と

実践の融合」の意義とその必要性を実感しました。今でも教授の皆様には親身になって御指導いただくなど、修了後のつながりの強さ、フォローの充実が教職大学院の強みです。また、同期の仲間との絆は、公私ともに私の一生の宝となっています。今後も教職大学院でのつながりを大切にしながら、現任の学校や地域に微力ながら還元できるよう、学校経営に尽力していきたいと思ひます。



第3期生 教育実践開発コース
古泉 啓悟さん
(新居浜市立高津小学校)

今の私を支える「経験」と「つながり」

2年間で様々な経験ができましたが、特に印象に残っていることが2つあります。1つは、大学教授をはじめ県内外の素敵な先生方、文献との出会いです。多様な考え方に触れることで、今まで自分が築いてきた教育観を問い直し、再構成することができました。もう1つは、教育実習です。実習生として教師の関わりや学級、子どもの変容を肌で感じることでできたのは、学部生ではできない経験でした。

これらの2年間の経験から、教育の奥深さや学ぶことへの楽しさを感じ、現在は様々な学習会に参加しています。ここでは、お世話になった教授や修了生の方々と一緒にいることがあり、いろいろなところでつながりを感じています。このように、2年間で得た経験とつながりは現在も続いており、私を支える原動力となっています。

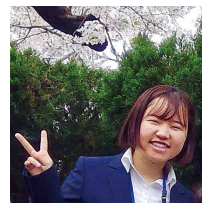


第5期生 教科領域コース
石丸 遥香さん
(松山市立桑原中学校)

現場で生きる学びとつながり

私は教職大学院での2年間で、貴重な学びとつながりを得ました。大学院の先生方から教科や生徒指導などの実践的・専門的な内容を数多く教えていただき、その学びを今、学校現場で生かしています。また、2年間を通して学校現場へ実習に行かせていただいたことで、イメージをもって教員生活をスタートすることができました。多岐にわたる学校業務の中で戸惑うことや不安に思うこともありましたが、

が、そういう時に助けてくれたのは、教職大学院で学んだ知識や、一緒に学んだ仲間、修了しても気にかけてくださる大学院の先生方でした。教職大学院での学びやつながりのおかげで、日々笑顔で生徒と向き合うことができ、充実した学校生活を送ることができていると実感しています。これからも教職大学院での学びとつながりを生かし、教員として成長し続けていきたいです。



第7期生 特別支援教育コース
柘植 香穂さん
(愛知県立岡崎豊学校 教諭)

理論と実践の往還を実現できた2年間

私は、特別支援教育の専門性と教師としての力量を高めたいと思い、教職大学院に進学しました。教職大学院では、ゼミや講義などを通じて自分の専門である聴覚障害領域だけでなく、他の障害領域についても幅広く学ぶことができました。また、年間を通して実習に行かせていただいたことで、教員になってからの仕事内容のイメージをもつことができました。これらの経験は、現在の勤務校での子どもとの関わりに生かされており、充実した教員生活を送ることができていると実感しています。大学院時代は、理

論や知識を学ぶ講義と同時進行で学校現場での実習があり、忙しい日々を過ごしていました。しかし、大学院で学んだことと子どもとの関わりの中で感じたことが繋がったときの嬉しさは今でも忘れられません。私は地元に戻り教員になりましたが、場所が変わっても、大学院時代に得た知識や経験、仲間や先生方の存在が今の自分を支えてくれています。今後も教職大学院で学んだことを思い出しながら、教員として成長し続け、地域の教育に貢献していきたいです。

心理発達臨床専攻

(修士課程)

一般選抜に加え、地域の心理的支援の担い手として高い使命感と倫理観を有し、地域において心理職として勤務する希望が明確な公認心理師希望者を対象とする特別選抜(若干人、9月のみ)を実施します。

教育理念・目的

心理発達臨床専攻は、**臨床心理士**、**公認心理師**の資格を持ち、高い専門的知識と技能を備えた専門スタッフ(スクールカウンセラー等)として、臨床心理学的支援の場で活躍できる人材の養成を通して地域に貢献することを基本理念として、**心の健康に対する社会のニーズと自己の学習課題・研究課題を明確に意識し、実践を省察しつつ先導的に学習し研究する高度な実践力をもった高度職業専門職人材の育成**を目的としています。

目的1

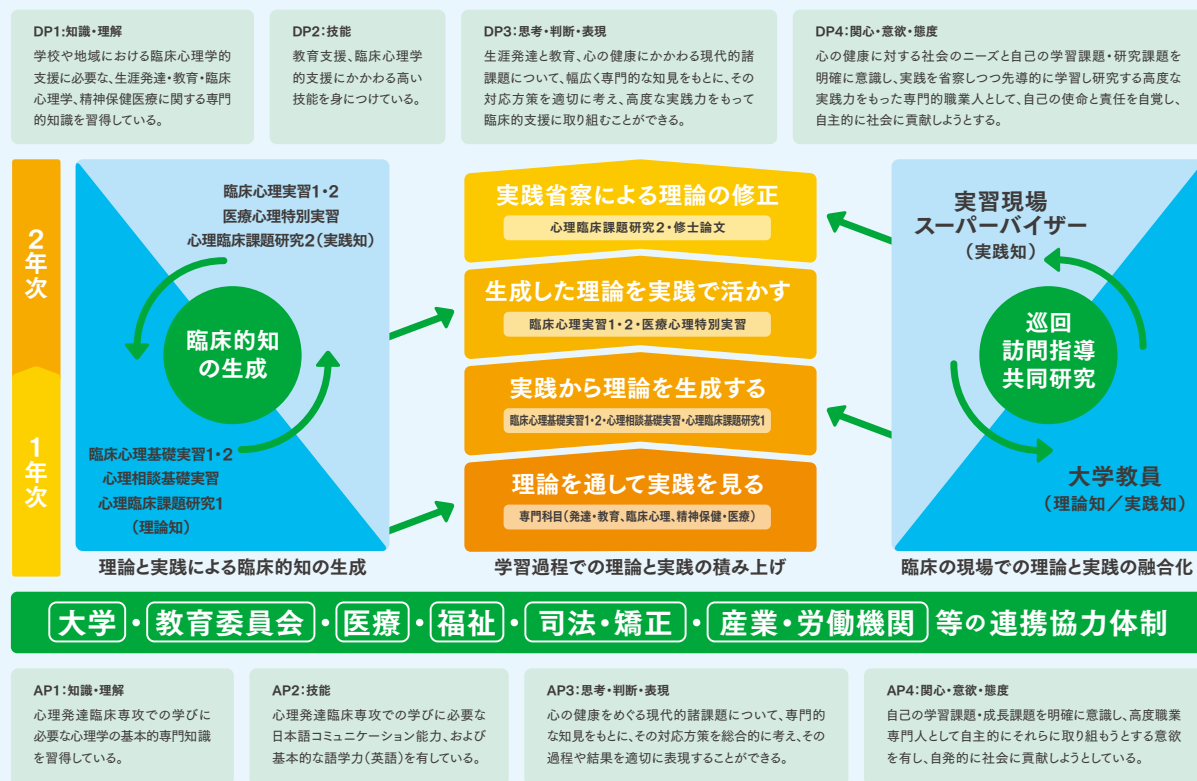
教育学研究科心理発達臨床専攻は、チーム学校の専門スタッフとして、幼児・児童・生徒とその保護者だけでなく、教員(学級担任、教科担当、生徒指導担当、特別支援教育コーディネーター、養護教諭、管理職等)や他の専門職と連携して、学校教育の現場で生じる諸問題の解決に寄与できるスクールカウンセラーを養成します。

目的2

学校生活はその後の生涯発達の基礎になる重要な時期であり、その場限りの問題解決をめざした支援ではなく、クライアントのライフステージを踏まえた理解と、生涯を通じた支援が求められています。心理発達臨床専攻は、愛媛県で唯一の大学院の専門教育課程として、地域の医療、福祉、司法・矯正、産業・労働等の現場で、心の健康の保持増進に係わる高度専門的職業人を養成します。

カリキュラム

愛媛県教育委員会が求めるチーム学校専門スタッフとしての資質能力、地域の医療、福祉、司法・矯正、産業・労働の現場で活躍できる高い専門性の獲得



生涯発達・教育の観点から、学校教育をはじめとして、地域の医療、福祉、司法・矯正、産業・労働等の現場で、心の健康の保持増進に寄与する高度専門的職業人を養成します。生涯発達・教育、教育・臨床心理学、精神保健医療の3領域を学び、1年次からの豊富な実習を教育、医療、福祉、産業、司法・矯正等の各分野で実習を行います。また、現場と連携した実践的な研究活動を通じて修士論文を作成します。

対象 学部卒業者、社会人等

目的 学校や発達支援の現場で心理臨床の専門スタッフとして活躍できる高度職業専門人の育成 定員 10名



取得可能な資格

臨床心理士(日本臨床心理士資格認定協会)¹⁾、公認心理師(国家資格)²⁾の両資格に対応しています。

- 1) 本大学院は(公財)日本臨床心理士資格認定協会1種指定校であり、大学院において所定の単位を取得した者に臨床心理士試験の受験資格が与えられます。
- 2) 本大学院は文部科学省・厚生労働省に認可された公認心理師養成カリキュラム対応大学院です。本大学院入学前に公認心理師に対応した学部で必要な単位を取得した者が、本大学院で所定の単位を取得した場合に公認心理師の受験資格が与えられます。

※教育職員免許状の専修免許状は取得できません。

授業一覧

専門科目(30単位以上)	
子どもの発達と学びの支援	臨床心理査定演習2
子どもの発達と環境要因	臨床心理学研究法特論
学校と地域の連携による学びの支援	投映法特論
教育心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)	産業心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)
医療心理学特論	障害心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)
心理統計解析特論	社会病理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と実践)
臨床心理学特論1	家族心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)
臨床心理学特論2	精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)
臨床心理面接特論1(心理支援に関する理論と実践)	心の健康教育に関する理論と実践
臨床心理面接特論2	心理療法特論
臨床心理査定演習1(心理アセスメントに関する理論と実践)	臨床発達心理学特論
障害心理学特論	
課題研究(4単位以上)	
心理臨床課題研究1	心理臨床課題研究2
実習科目(6単位以上)	
臨床心理基礎実習1	臨床心理実習1(心理実践実習B)
臨床心理基礎実習2	臨床心理実習2
心理相談基礎実習(心理実践実習A)	医療心理特別実習(心理実践実習C)
研究科共通科目	
インクルーシブ社会実現に向けて	教授法入門